

令和4年度

値引きシールを集めて食品ロス削減キャンペーン

結果報告書



令和5年6月

磐田市 ごみ対策課

1 キャンペーンの内容

スーパー店舗において消費・賞味期限切れによって廃棄される食品の削減を図るため、令和4年10月30日の食品ロス削減の日をスタートに「値引きシールキャンペーン」を実施し、来店客が食品ロス削減のために値引きシールが貼ってある商品を買やすい環境を整える。

2 キャンペーンの内容

- 準備：令和4年10月中旬（パンフレット及びポスターの掲出依頼）
応募期間：令和4年10月30日（日）～令和5年1月11日（水）当日消印有効
抽選：令和5年1月下旬
景品発送：令和5年2月上旬



応募はがき付啓発パンフレット(外面・内面)

【取組の役割分担】

○参加事業者

- ・応募はがき付啓発パンフレットの掲出
 - ・キャンペーンのPR
- ※ キャンペーンの対象となる値引きシールは、各店で通常使用しているものとする。

○磐田市

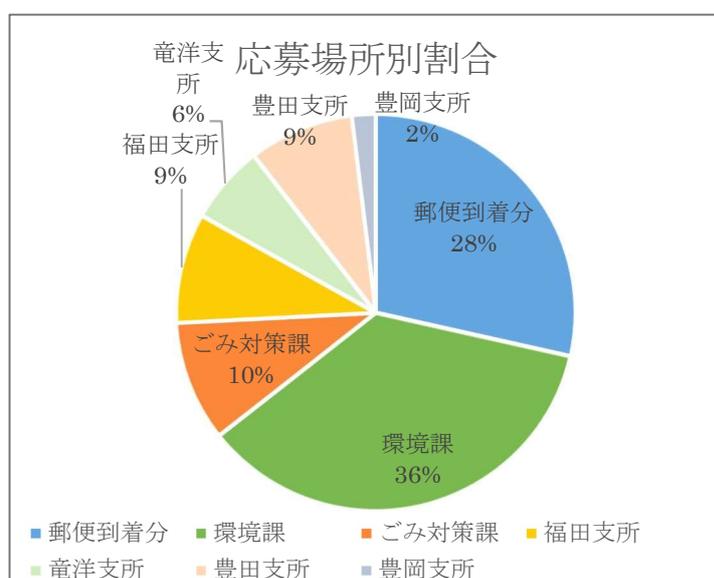
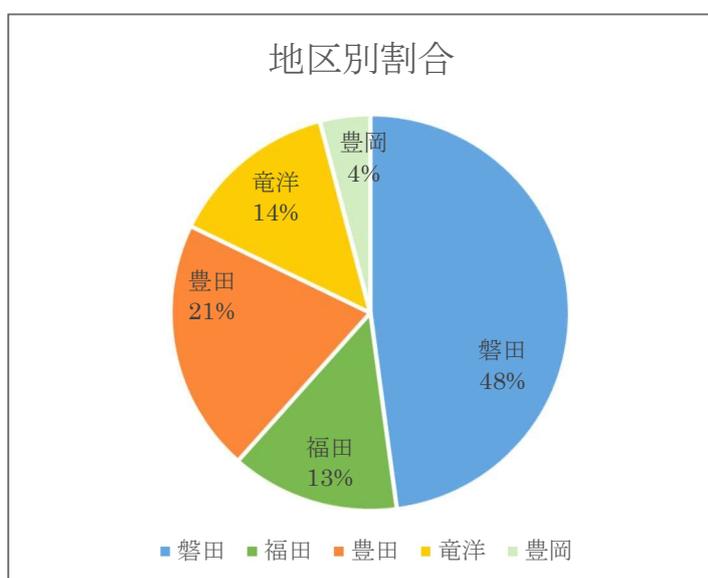
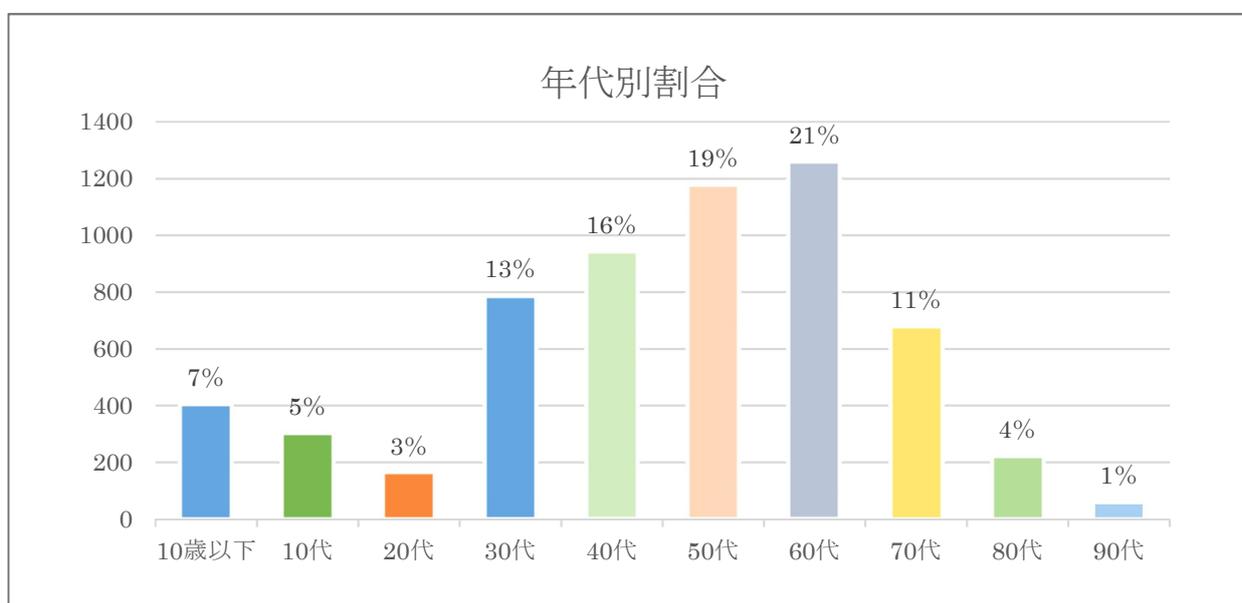
- ・応募はがき付啓発パンフレット [8000部] チラシ [16000部] を作成、事業者へ配布（応募はがきの様式は、磐田市ホームページからもダウンロード可能とする。）
 - ・広報いわた10月号及び市ホームページにキャンペーン情報を掲載
 - ・景品の用意、当選者への発送
- ※ 景品は、A賞しっぺいエコバックキーホルダー 40名
B賞しっぺいトートバッグ 30名
C賞しっぺいエプロン 30名
- ・応募はがきの集計、コメントのデータ化、参加事業者への情報共有
 - ・キャンペーンのPR

○いわた消費者協会

- ・公正な抽選を行うため、消費者協会会員が応募はがきの中から抽選を行い、当選者を決定
- ・キャンペーンのPR

3 アンケート集計結果

- ・応募総数 6,904 件(令和 3 年度は 4,239 件) 63%増加
- ・年代別では 50~60 代が多く、50 代以上で半数以上を占めている。
- ・地区別では、磐田が 48%、豊田 21%、福田 13%、竜洋 14%、豊岡 4%
- ・応募場所別では、環境課が 36%、郵便到着分 28%、ごみ対策課 10%、福田支所 9%、豊田支所 9%、竜洋支所 6%、豊岡支所 2%
- ・好意的なコメントが大多数で、キャンペーンをきっかけに、すぐ食べるものは手前から取ること、値引きシールの付いた商品を選ぶようになったというコメントが多かった。継続を求める声も多く、キャンペーンに参加したことで食品ロス削減に関心を持ち、今後も手前どり、値引き品の購入、食べきるための工夫などできることを継続していこうという参加者の前向きな意見が把握できた。



《コメント一覧（抜粋）》

【キャンペーンについて】

- ・家計に優しく、地球に優しく、ワクワクもプラスされて一石二鳥です！すてきな取組みをありがとうございます。
- ・このようなキャンペーンを企画してくれたことは大変良い事だと思うし、磐田市民としても積極的に取り組みたいと思う。
- ・何度もこういったキャンペーンをして、食品ロス問題をもっととりあげて意識づけすると思います。

【意識・行動変容】

- ・以前から節約も兼ねて、値引き商品等購入していましたが、少し恥ずかしいと思っていました。最近はまちがっていなかったんだと思い積極的に利用しています。
- ・食品ロス削減への意識が高まり賞味期限が他より近い商品を買う事に抵抗が無くなった。
- ・毎日の生活の中で無理なく食品ロス削減に取り組めたのでキャンペーン後も割引品のチェックを続けようと思います。

【事業者、店舗へのコメント】

- ・家族で食べきれよう、割高でも少量パックを利用しています。
- ・磐田でも規格外お野菜の市場をやってほしいです。
- ・値引品コーナーに「今日の献立にお役立て下さい」などのポップをつけたら、値引品を手取る抵抗感が減るのではないのでしょうか。
- ・キャンペーンの紙が12月後半から店にない。
- ・店舗で応募が出来るよう、応募箱を設置してほしい。(複数件)
- ・シール枚数に応じてポイント還元などしてほしい。(複数件)

【啓発について】

- ・買い物で商品を取ろうとする時に「手前から取るとうれしっぺい」の表示を見て、食品ロスが出ないようにすぐに消費する物は、手前どりの意識ができました。
- ・食品ロスゼロアイデア事例集がとても参考になり、我が家でもマネするようになった。
- ・広報いわた10月号特集の「冷蔵庫の見える化」を冷蔵庫に貼りました。

【市へ】

- ・いい企画だと思います。5枚だとすぐたまるので、もっと枚数多くてもOKでした。
- ・キャンペーンに参加してくれるお店をもっと増やしてほしい。
- ・賞品を増やしてほしい。
- ・このキャンペーンの事を初めて知りました。もう少しアピールしてもいいと思う。
- ・家庭の食品ロス効果は企業に比べるとわずかなものです。企業の食品ロス削減活動の紹介や優良企業奨励もやりましょう。

—以上—